



おらだの声

令和3年10月発行

9月21日は 世界アルツハイマーデー

「国際アルツハイマー病協会」（ADI）は、世界保健機構（WHO）と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」、9月を「世界アルツハイマー月間」と決めました。この期間を中心に、世界各地で認知症に関する啓発活動が行われました。米沢市内では、市立米沢図書館で、認知症の正しい理解の普及啓発を目的に認知症に関する特集コーナーを設置しました。多くの方が足を運んでくださり、認知症についての関心の高さを感じました。



市民のみなさんからの声



アルツハイマーデーを知らなかったもので、知る機会となりました。

図書館に、こんなにたくさんの認知症に関する本があるとは知らなかった。

公益社団法人認知症の人と家族の会山形県支部の主催で、認知症支援の連携の輪が県内にさらに広がることを願い、旧米沢高等工業学校本館がシンボルカラーのオレンジ色にライトアップされました。



認知症サポーター交流会

7月19日、置賜総合文化センターで認知症サポーター交流会を開催しました。様々な職業の方にお集まりいただき、体験談や想い等をお聞きしました。一部を紹介します。

夫を亡くし、書く事や話す事全てに支障がきて入院。文字をノートに書く練習、歌を勧められたことで少しずつ状態が良くなり今はボランティア活動が出来るまでに。認知症の方の目線に立って静かに話をするよう心がけている。

町内に認知症の方がいたが、声をかける事も出来なかったのが心残り。まずは挨拶から始めたい。

「体験談を聞いて有意義な時間だった」、「認知症を恐れない世の中になれば良いと思った」、「次回も参加したい」との声も多数ありました。



令和3年8月末時点で、認知症サポーター養成講座の講師役（キャラバンメイト）は168名です。この度講師デビューされました小林文香さんにインタビューしました。

1

普段の仕事は？

社会福祉協議会で年齢問わず、権利擁護に関する相談業務を行っています。

2

講師依頼を受けた時の気持ちは？

正直ハードルが高かったです。しかし、自分が勤務する職場での開催とあって仲間のためにも頑張ってみようかな…と。共同開催という面も一歩踏み出してみようという気持ちになりました。

小林さん、ありがとうございました。身近なところから開催するためにも、普段のつながりが大事になると話す小林さんが印象的でした。今後のご活躍を応援しています。



米沢市認知症サポーター数
8,081名 (R3.8.31現在)



認知症
キャラバンメイト
活躍中！



3

実施して難しかったことは？

キャラバン活動の実態や認知症の基本的なところを伝える分野だったこともあり、教科書的な説明になってしまいました。みんなに届く言葉に変えて、自分の言葉で、次は伝えたいなと思いました。

4

講座を終えて思うことは？

認知症の正しい知識を得ることが、認知症の方とその家族をあたたかく見守る第一歩につながると思います。少しでも多くの認知症サポーターが誕生できるよう講座のタイミングを逃さないこと、メイトの視点を日々もって様々な情報をキャッチしていきたいと思いました。

発行者：米沢市認知症地域支援推進員
米沢市高齢福祉課地域包括支援担当
☎22-5111